



辻井伸行と三浦文彰 日本を代表する奏者が集結したスーパー・オーケストラと共演！

ARKシンフォニエッタは、日本のオーケストラの最高峰を目指し、三浦文彰と辻井伸行の呼びかけによって名プレイヤーたちが集結したスーパー・オーケストラです。ARKシンフォニエッタがレジデント・オーケストラを務める都市型の音楽祭〈サントリー・ホール ARKクラシックス〉における演奏は「圧倒的な感動！今、もっとも聴くべきオーケストラのひとつ」との声も上がるほどの大成功をおさめています。世界中で大きな注目を集め、その高い集中力から生み出される感動的な演奏が絶賛される辻井伸行。世界的ヴァイオリニストでありながら指揮者としての才能も評価されている三浦文彰。ふたりの高い音楽性と圧倒的なアンサンブル能力の融合から生まれる極上のベートーヴェン！生演奏ならではの深い感動をぜひ体験してください。



辻井伸行（ピアノ）
NOBUYUKI TSUJII, piano



三浦文彰（指揮、ヴァイオリン）
FUMIAKI MIURA, conductor, violin



ARKシンフォニエッタ
ARK SINFONIETTA

2009年6月、「第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクール」で日本人として初優勝して以来、国際的に活躍している。ニューヨークのカーネギーホールの主催公演、イギリス最大の音楽祭「プロムス」へのBBCフィルとの出演、ウィーン楽友協会やベルリン・フィルハーモニー、パリのシャンゼリゼ劇場などの世界の著名なホールでの演奏会はいずれも絶賛され、ゲルギエフやアシュケナージなどの世界的指揮者との共演も常に高い評価を受けている。CDも積極的に発表し、2度の日本ゴールドディスク大賞を受賞。作曲家としても高い人気を誇り、映画《神様のカルテ》で「第21回日本映画批評家大賞」を受賞したほか、数多くの映画やドラマのテーマ曲を手掛けている。

世界最難関と言われる「ハノーファー国際コンクール」において史上最年少の16歳で優勝。これまでロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、ベルリン・ドイツ響、マリインスキー劇場管、チャイコフスキイ・シンフォニー・オーケストラなどと共に。共演した指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマンが挙げられる。21年はバルセロナ響、ウィーン室内管と共に。ピリスとのデュオ・リサイタルも行う。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスに就任。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。〈サントリー・ホール ARKクラシックス〉のアーティスティック・リーダーを務め、ARKシンフォニエッタを創設して指揮者を務める。また東京フィル、オーケストラ・アンサンブル金沢などを指揮して好評を博す。

毎年10月にサントリー・ホールを舞台に繰り広げられる都市型の音楽祭〈サントリー・ホール ARKクラシックス〉のレジデント・オーケストラとして2019年に発足。〈サントリー・ホール ARKクラシックス〉のアーティスティック・リーダーを務める辻井伸行と三浦文彰の呼びかけにより、ソリストとしても活躍するフルートの高木綾子やチェロの遠藤真理、コンサートマスターや首席奏者として日本のオーケストラ界を牽引する三浦章宏、高橋和貴、松浦奈々、会田莉凡、鈴木康浩らが中心的な役割を担い、国内外のコンクールで優勝を飾った期待の若手奏者たちが伸びやかに演奏を繰り広げる日本最高峰のオーケストラである。

Photos: Yuji Hori